

第1回 SS 発展探究 α ・発展探究課題研究指導

期 日 平成 30 年 6 月 12 日(火) 5・6 限
場 所 富山中部高校
参加者 2 年生理数科学科・人文社会科学科 79 名
指導者 富山大学教授・准教授 13 名
本校数学・理科・英語科・国語科・地歴科教諭 15 名

本校では 2 学年探究科学科（理数科学科・人文社会科学科）生徒全員が、数学・理科・英語科・国語科・地歴科ごとのゼミに分かれて、1 年をかけて課題研究を行います。6 月 12 日(火)の午後に本年度第 1 回発展探究課題研究指導が行われ、富山大学から 13 名の教授・准教授をお招きして、指導担当の本校の先生を交えて、課題や仮説の設定についてご指導をいただきました。今回は初めて大学の先生方から指導を受けるので、生徒たちは緊張の面持ちでした。



理科の全体発表会

理数科学科の SS 発展探究 α では、物理・化学・生物の研究班では、今年は全員が最初に至誠ホールに集まって、それぞれの課題について研究班毎にプレゼンテーションを行いました。その後、教科に分かれて課題設定について指導や助言をもらいました。課題設定や研究の方法について、たくさんの示唆を頂き、新しい知見に触れることができました。



物理班の発表



英語ゼミ

人文社会科学科の英語ゼミでは、まず教授方から、課題研究を 1 年間取り組むにあたって、自分たちの主張したいことをはっきりさせるという心構えを教えてくださいました。次に生徒が考えている研究テーマ、1 年間の見通しを伝えました。教授方からの鋭い質問に対して生徒が必死に答えながら、研究テーマを深めていきました。約 2 時間と短い時間でしたが、内容の濃い時間を過ごせたように感じます。



地歴ゼミ

参加した生徒からは、「テーマについて十分に考えていたつもりだったが、はっきりと説明できない箇所も多く、今のままでは不十分だと気づかされた。班の中で話し合いを重ねて自分たちの意見を持ち、テーマの方向性を明確にしたい。」「教授から専門的なことなことも含め多くのことを



数学ゼミ

教えていただき、新たな視点を持てた。助言をもとに、実りある課題研究にできるようにしたい。」との感想がありました。また、ご指導いただいた教授からは、「生徒たちは生き生きと活動に取り組んでいた。日頃から主体的な思考が育っているのだろう。」との言葉をいただきました。次回の指導は 12 月 16 日（日）開催の三校合同課題研究発表会前、11 月 20 日（火）に予定されています。



国語ゼミ



生物ゼミ

今回の指導を通して、改めて課題研究への意欲が高まったように感じます。助言を心にとめて毎週の活動時間を有効に使い、各自が納得のいく研究ができるように活動していきたいと思います。